

はらっぱ

令和5年10月23日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第6号
文責：校長 石澤 友章



スローガンを達成！ 実い多き 大運動会

運動会スローガン ～ 新しい歴史のスタート！ 仲間と一致団結！ 最後まで全力で～

先月中ごろまでには、想像もできなかったほどさわやかな気候の中、10月13日（金）に運動会を実施することができました。9月16日（土）から延期をしたことにより、平日の開催となってしまいましたが、それでもたくさんの保護者の皆様からご参観いただくことができました。ご多忙の中お越しくださり、子どもたちに熱い声援を送っていただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



実行委員の子どもたちを中心に考えられた今年のスローガンには「**新校舎での初めての運動会が思い出に残るものになってほしい。仲間と心と力を合わせて共に創り上げる。準備や練習などの段階から全て全力で取り組み、最後まであきらめない**」という3つの思いが込められていました。運動会当日までの過程を大切にして準備をしてきた子どもたちでしたが、当日はまさに、スローガンに込められた思いが実現したといえる下記のような姿が見られました。

- ・特に応援合戦のときは、応援リーダーだけではなく、1年生から6年生まで、全員が必死になって取り組んでいる姿が見られたこと
- ・競技においては、勝つことが難しい状況になってもあきらめず、ゴールまで全力でむかっていたこと
- ・味方への声援はもちろん、相手の組の勝利に対しても拍手などで敬意を表していたこと



6年生全体のリーダーシップとそれを支えるフォロワーシップがうまくかみ合い運動会の大成功につながりました。自分たちのめざす姿を明らかにして全体を運営した実行委員と、県内最大規模の学校ならではの、赤白青共に250人を超える大軍団の応援活動を引っ張った応援団のリーダーたち。苦勞したゆえに得た「学び」について振り返ってもらったことを紹介します。

実行委員長 関つばさ さん

本番当日だけでなく、準備や練習、後片付けでも「仲間と一致団結している」姿を見ることができました。また全校生が競技や応援に「最後まで全力で」取り組んでいました。振り返ってみると、実行委員全員で試行錯誤を重ねて決めたスローガンは達成できたと感じています。私は実行委員長としてみんなの意見をまとめることに苦勞しました。悩みながらも本気で取り組んだ一番思い出に残る運動会となりました。学校全体で取り組んだからこそ、「新しい歴史のスタート」が切れたと思います。一緒に頑張った委員の皆さん、全校生の皆さん、そして教えてくれた先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

白組組頭 佐藤悠之介 さん

運動会を振り返ってみて苦勞したことは、応援団員の動きをそろえることと白組全員に声を出してもらえるように教えることです。良かったことは、競技種目で白組が負けていても、あきらめないで応援団を先頭に応援していたところです。ダブル優勝の夢はかないませんでしたが、練習で努力してきたことがむくわれ、応援賞をとることができました。白組の皆さんに感謝したいです。本当にありがとうございました。来年はまた白組になる人や、赤や青になる人もいますと思います。でも、どの組になってもあきらめずに頑張ってください。

青組組頭 山口うた さん

私は一年生（下学年）が覚えやすい振り付けや応援にすることがとても大変でした。そんな中、学年に関係なく、みんなで声をかけ合い覚えてくれたことや静かにするときには静かに話を聞いてくれたことに感謝しています。結果は少し残念なものになってしまいましたが、みんなが全力を出しているのを見てやりがいを感じました。青組の皆さん本当にありがとうございました。私は、1年生の時から憧れていた組頭になれてとてもうれしかったし、積極的に活動することが増えてうれしかったです。

赤組組頭 横山陸 さん

最初は赤組のみんなは、あまり声が出ていませんでしたが、運動会が近づくにつれてみんながぐんぐん成長しました。競技では優勝をとることができました。人は頑張るとこんなに短い時間に成長できるんだなと思いました。ぼくは実際に大勢の人をまとめ引っ張る活動を通して力をつけることができました。この力を忘れることなく、日常の生活に取り入れ今後の生活をもっと豊かにしていきたいと思いました。先生方や各係長の皆さん、ありがとうございました。

学んだことを 力にかえて ～大きな行事をふいかえるということ～

本校では、学校運営基本方針で目指す学校像を「**未来社会を切り拓く学力や資質・能力が身につく学校**」としています。未来社会を切り拓く学力や資質・能力については、「数値に見える学力」だけではなく、「課題解決力」「コミュニケーション能力」「多様性を尊重する心」「思いやりの心」など多面的に捉えています。本校では、学校研究をはじめとした教育活動全般において「つかむ（主体性）」「つながる（協働性）」「ふり返る（内省性）」を大切にしています。運動会のような大きな行事は、そうした学びの大きなチャンスであり、特にふり返りは大事なポイントになります。本校では、個人ごとのふり返りと係活動のふり返りの2つの側面から、自分の成長や今後の課題を明らかにしています。掲示してある高学年の「運動会がんばりカード」を見ると「低学年に優しく声をかけることができた」「人前で話をするできるようになった



たので、その機会を増やしていきたい」というような記述が多くみられました。また、次の年も気持ちよく仕事ができるように、使用したものを丁寧に片付ける作業も「思いやりの心」を育むために大切です。本校では運動会後の片付けを5年生が担当し、来年のスタートを気持ちよく切れるよう活躍してくれました。こうして得た学びが、「打ち上げ花火」に終わらずに、着実に子どもたちの育ちにつながるよう全職員で引き続き支援していきたいと思います。

※紙面ではなかなかお伝えしきれない運動会までの取り組みの様子などは、本校のホームページ「はらっぱニュース」（随時更新中）でご紹介しておりますので是非ご覧ください。（QRコードからもアクセスいただけますのでご活用ください →）



子どもたちの安全のため あいがとうございます

～新しい交通指導員さんの紹介～

交通指導員さんが不在になっていたヤマザワ近くの交差点のところに、10月より 小島真澄（こじま ますみ）さんが交通指導員として立哨してくださっています。小島さんは、富の中にお住まいで、子どもたちや学校のためになればというお気持ちから、指導員を希望してくださいました。交通量の多い交差点ですので、本当にありがたいことです。

小島さん、どうぞよろしくお願いいたします。

